②　減損の兆候の概要
固定資産が使用されている業務の実績が、中期計画等の想定に照らし、著しく低下しているため。
③　減損の認識に至らない根拠
現に使用しており、今後においても使用が想定されているため。

⑼　柳沢峠山小屋
①　減損の兆候が認められた固定資産の概要
用途：山小屋
種類：建物
場所：山梨県甲州市塩山大字小屋敷字滑沢2319番１
期首帳簿価格：903千円（建物903千円）
②　減損の兆候の概要
固定資産が使用されている業務の実績が、中期計画等の想定に照らし、著しく低下しているため。
③　減損の認識に至らない根拠
現に使用しており、今後においても使用が想定されているため。

⑽　南１号館
①　減損を認識した固定資産の概要
用途：教育研究施設
種類：建物、建物附属設備
場所：東京都大田区石川町１―31
期首帳簿価格：570,997千円（建物36,678千円、建物附属設備534,319千円）
②　減損の認識に至った経緯
建物の老朽化に伴い、耐震強度が低いことから、平成24年５月10日をもって、当該建物東側部分の廃止・取壊しの決定を行ったため。
③　減損額
損益計算書上に計上していない金額：559,732千円（建物35,168千円、建物附属設備524,564千円）
④　回収可能サービス価額
使用価値相当額が０円であると判断し帳簿価額を０円まで減損した後、当事業年度中に除却処理を行っております。

⑾　戸田艇庫
①　減損を認識した固定資産の概要
用途：課外活動施設
種類：建物、建物附属設備及び構築物
場所：埼玉県戸田市戸田公園１―55
期首帳簿価格：10,596千円（建物7,989千円、建物附属設備2,497千円、構築物109千円）
②　減損の認識に至った経緯
建物の老朽化から、新たに艇庫を改築することに伴い、平成24年５月10日をもって、廃止・取壊しの決定を行ったため。
③　減損額
損益計算書上に計上していない金額：10,338千円（建物7,825千円、建物附属設備2,408千円、構築物104千円）
④　回収可能サービス価額
使用価値相当額が０円であると判断し帳簿価額を０円まで減損した後、当事業年度中に除却処理を行っております。

⑿　電話加入権
①　減損を認識した固定資産の概要
用途：電話回線
種類：電話加入権
場所：東京都目黒区大岡山２―10
東京都港区芝浦３―17―１
期首帳簿価格：378千円
②　減損の認識に至った経緯
電話加入権の市場価格が著しく下落し、市場価格の回復の見込があると認められなかったため。
③　減損額
帳簿価額は回収可能サービス価額に比して低廉なため、減損額は計上しておりません。
④　回収可能サービス価額
使用価値相当額が正味売却価額と比較し高いため、回収可能サービス価額は使用価値相当額を採用する。使用価値相当額は再調達価額をもって算定しております。

⒀　樹木
①　減損を認識した固定資産の概要
用途：樹木
種類：構築物
場所：東京都目黒区大岡山２―12　３本
東京都目黒区大岡山２―10　15本
東京都港区芝浦３―17―１　２本
期首帳簿価格：86千円（構築物86千円）
②　減損の認識に至った経緯
工事の支障、立ち枯れのため不用決定を行っております。
③　減損額
損益計算書上に計上していない金額：構築物　68千円
④　回収可能サービス価額
使用価値相当額が０円であると判断し帳簿価額を０円まで減損した後、当事業年度中に除却処理を行っております。

⒁　総合理工学研究科棟１号館建物附属設備
①　減損を認識した固定資産の概要
用途：教育研究設備
種類：建物附属設備
場所：神奈川県横浜市緑区長津田町4259
期首帳簿価格：2,453千円（建物附属設備2,453千円）
②　減損の認識に至った経緯
改修工事により既存の設備を撤去するため、不用決定を行っております。
③　減損額
損益計算書上に計上していない金額：建物附属設備2,280千円
④　回収可能サービス価額
使用価値相当額が０円であると判断し帳簿価額を０円まで減損した後、当事業年度中に除却処理を行っております。

５．重要な債務負担行為

件　名	契約金額	うち翌期以降支払額
南５号館改修工事	1,110,900千円	911,820千円